

公立浜坂病院

文責：木村敬一、湯村香子、田口真理子



＜公立浜坂病院の概要＞

立地：兵庫県最南端&最西端に位置する美方郡新温泉町

病床数：一般病床 49 床（うち地域包括ケア病床 16 床、感染用個室 2 床）

常勤医師：総合診療科 6 名、整形外科 1 名

診療科目：総合診療科、整形外科、耳鼻咽喉科（兵庫医大応援医師が週ごとにいらっしゃる）、
神経内科（月 1 回）、発達相談外来（月 1 回）、リハビリテーション科、禁煙外来

当直体制：医師 1 名、看護師 1 名（検査技師・放射線技師は呼び出し制）

在宅医療：訪問診療、訪問看護、訪問栄養指導、訪問リハビリテーション

付帯施設：介護老人保健施設ささゆり

【最近の動向&養成医からのコメント】

今年は医師数が多く、若手もすぐに相談できる大変ありがたい環境です。どのコメディカルの方とも顔が見える関係を作ることができ、お互い相談しやすいのも魅力です。

パンデミックが落ち着いてきたこともあり、住民向け健康講話や糖尿病教室などの地域での予防医療活動も再開しつつあります。

訪問診療も力を入れていきたい分野の一つです。レトロな公用車を医師が運転して患者さん宅へ向かいます。訪問看護とも連携しつつ、急な場合には入院できる体制を整えて対応しています。

残念ながら 7 月に泌尿器科がなくなってしまい、そちらも含めて総合診療科で診療していくことになりました。さらに視野を広げて勉強していきたい次第です。

＜養成医師の役割・位置づけ・期待されている事、養成医同士の関わり合い＞

浜坂病院の総合診療科では医師 5 名（院長除く）の内 3 名が県養成医である。近年は 2-3 名の県養成医が総合診療科に在籍しており、浜坂病院の規模を考えると、内科外来、救急外来、入院業務の中核を担っているといえる。また浜坂病院全体の取り組みとして、一般的な病院業務だけではなく、訪問診療、ワクチン接種、企業検診、健康講話、施設回診などの地域に根差した活動も多く行っているため、養成医もそれらの中心で参加する機会が多い。

また、浜坂病院はさいたま市民医療センター総合診療専門医プログラムの派遣先でもある。現時点（2023 年度前期）では 1 名在籍している。他県からの総合診療科養成医との交流は、地域医療の実情の違いを感じる事ができ、在宅医療への取り組み方を教え合うなど、お互いにより刺激となっている。

県養成医は 1-2 年おきに入れ替わるため、地域によりやく慣れてきた医師が異動となるデメリットがある。しかし養成医を受け入れてきた実績のある浜坂病院では、看護師等の病院職員が皆非常に協力的であり、馴染みやすい環境を作ってくれている。例えば、訪問診療では行先の地域を案内してくれ、患者の自宅や交通手段に応じてかかりつけ先の選定や施設の提案も積極的にしてくれる。これは派遣医にとって非常にありがたい環境であると同時に、県養成医という入れ替わりの激しいシステムでも、切れ目のない安定した医療を提供してほしいという養成医への期待の表れでもある。長年地元住民を支えてきた地域密着型病院の特徴といえる。

<浜坂ってどんなところ？>

浜坂は、北は日本海、西は鳥取県に面し、兵庫県最北西部に位置する魅力的な町です。海と山に囲まれた絶好のロケーションで、まるで絵本から飛び出したような風景が広がっています。海岸線には広大な砂浜が広がり、太陽の光を浴びながらのんびりと過ごすことができます。新鮮な魚介類は絶品で、釣りを楽しむ人々の笑い声が響き渡ります。山の中には美しい渓谷が広がり、自然との触れ合いを楽しむことができます。特に夜になると、クワガタムシが家の前に現れるなんてこともありますよ！

浜坂の中心地には温泉街があり、リラックスできる温泉に癒されることができます。旅行者で賑わう温泉街では、地元のおもてなしを受けながらゆったりとした時間を過ごすことができます。また、浜坂では地元の祭りや行事も盛んに開催されており、夏には賑やかな出店や花火大会が行われます。地元の人々の熱意とユーモア溢れるおもてなしに、思わず笑顔がこぼれます。

浜坂は、自然の美しさと地元の人々の温かさが融合した魅力的な町です。海でのんびり過ごしたり、山の渓谷で冒険したり、温泉でリフレッシュしたり、地元のイベントで楽しいひとときを過ごしたりと、さまざまな楽しみ方ができます。ぜひ浜坂に足を運んで、笑顔と幸せに包まれた素晴らしい時間を過ごしてください。



地元の焼肉屋さんと！

皆さんも浜坂を訪れた際は、

ぜひ「焼肉はまだ」に来てくださいね！